

令和2年度 京都府立宮津高等学校伊根分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

令和2年4月15日

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>智力、人間性、体力が調和した生徒の育成をめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人が安心して楽しく過ごせるクラス・学校作りを行う。 2 すべての生徒に基礎学力を定着させるため、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 3 関係専門機関との連携を強化し、多様な生徒に応じた支援を行う。 4 生徒一人一人の能力・適性を把握し、系統的な進路指導を行い希望進路の実現を図る。 5 人間的な触れあいを密にしたきめ細かな指導により、心豊かな人間性を育てる。 	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒及び保護者による学校評価アンケート（全項目）において、89.1%が肯定的評価であり満足度が非常に高い。 2 特別な支援を要する生徒に関する支援会議や教職員研修を計12回実施することができた。また、スクールカウンセラーとの情報共有や共通理解も適切に行われた。課題のある生徒に対して迅速に対応する事ができた。 3 ほとんどの生徒が勤労体験学習を最後までやり遂げた。特に自らの体験を発表させる指導を充実させることにより、自己の在り方を振り返って、社会性を向上させることができた。 4 4年生全員が、希望進路を実現できた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒による学校評価アンケートにおいて、学校生活の雰囲気や充実度に関する項目がやや低い。温かく思いやりのある学校作りに努める。 2 保護者による学校評価アンケートにおいて、部活動及び学校行事に関する評価がやや低い傾向が継続した。指導の充実を図るとともに、保護者への情報発信を図り、様々な学校行事等に参加していただく方策を工夫する。 3 勤労体験学習を充実させる。特に総合的な探究の時間やLHRとの連携を強化する。 4 個に応じた指導法の研究をさらに進める。 5 身だしなみ・あいさつ等の社会的マナーに関する指導を強化する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習への興味関心を引き出すための方策を研究し、暗記中心の学習ではなく、思考力重視の深い学びを追求する。 2 個に応じた指導法の研究を進め、一人ひとりの生徒が「わかる楽しさ」を実感できる授業を展開する。 3 規範意識の醸成を図るために、生徒指導を充実させる。特に、身だしなみ・あいさつ等の基本的マナーを身につけさせる指導を進める。 4 「総合的学習（探究）の時間」等と連携して勤労体験学習の一層の充実を図る。またアルバイトやインターンシップへの参加を積極的に促し、生徒の社会性の向上を図り、自己有用感を得させる。 5 進路実現に必要な基礎学力を身につけさせる取組や進路面談の充実を図る。 6 生徒の健康に関する意識向上を図り、健全な生活習慣を身につけさせる。 7 社会生活を営むために必要な力を育むため、ソーシャルスキルトレーニングや学校行事、体験学習を充実させる。 8 生徒面談を充実させるとともに、家庭や外部機関との連携を強化する。 9 各学年の課題に応じて「総合的な探究の時間」を計画的に実施する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
組織・運営	学校の教育活動全体を活性化し、保護者・生徒からの信頼を高める。	<p>学級減によって学校が萎縮することを防ぐため、各種学校行事や体験・探究活動を充実させ、生徒の学校生活に対する充実感を向上させる。</p> <p>[生徒・保護者による学校評価アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～60%</td> <td>60%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～60%	60%以下		
	A	B	C	D								
	90%以上	89～80%	79～60%	60%以下								
個に応じた指導を充実させる。	<p>生徒に関する情報を教職員が共有し、一人ひとりの生徒に必要な支援を協議する支援会議や教職員研修を実施する。</p> <p>[支援会議及び教職員研修の実施回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15回以上</td> <td>14～12回</td> <td>11～8回</td> <td>7回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	15回以上	14～12回	11～8回	7回以下			
A	B	C	D									
15回以上	14～12回	11～8回	7回以下									
保護者との連携を深め、教育活動に対する参加意識を高める。	<p>最大のPTA行事である学校祭への参加者増を図る。</p> <p>[保護者による学校評価アンケートにおける家庭との連携及び学校行事に関する項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～70%</td> <td>69～65%</td> <td>64%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	85%以上	84～70%	69～65%	64%以下			
A	B	C	D									
85%以上	84～70%	69～65%	64%以下									
教務部	授業規律を確立させ、学力の定着を図る。	<p>各教科において、授業のユニバーサルデザイン化を推進し、一人ひとりの生徒が「わかる楽しさ」を実感できる授業を展開する。</p> <p>[授業アンケート項目2～5のA評価の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～65%</td> <td>64～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～65%	64～50%	50%未満		
	A	B	C	D								
80%以上	79～65%	64～50%	50%未満									
主体的・対話的で深い学びのための授業改善を推進する。	<p>授業公開週間のねらいを明確にし、各教科において通常行われている学習活動の質を向上させる。</p>											

		<p>[授業公開週間における、ねらいに基づく授業実践の公開回数（一人あたり）]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3回以上</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>1回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3回以上	2回	1回	1回未満		
A	B	C	D									
3回以上	2回	1回	1回未満									
生徒指導部	<p>明るく元気で健全な精神の育成を目指す。</p>	<p>規範意識向上・マナー向上の指導を継続的に行う。 [目標：生徒の自己評価85点以上]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>85点</td> <td>75点</td> <td>65点</td> <td>65点以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	85点	75点	65点	65点以下		
	A	B	C	D								
	85点	75点	65点	65点以下								
<p>伊根分校生で良かったと感じる、活動や環境作りを行う。</p>	<p>学校行事・生徒会活動の内容を充実・向上させる。 [目標：生徒の満足度85%以上]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>85%以上</td> <td>75%以上</td> <td>65%以上</td> <td>65%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	85%以上	75%以上	65%以上	65%以下			
A	B	C	D									
85%以上	75%以上	65%以上	65%以下									
<p>部活動への積極的な参加を促し、心身の健康をめざす。</p>	<p>部活動通信を年12回以上発行する。 [年間発行回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>12回以上</td> <td>8回以上</td> <td>6回以上</td> <td>6回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	12回以上	8回以上	6回以上	6回以下			
A	B	C	D									
12回以上	8回以上	6回以上	6回以下									
進路指導部	<p>生徒の進路意識を高め、社会性や職業観の育成、自己理解を促し、希望進路の実現に向けて指導及び支援を行う。</p>	<p>全員の希望進路実現を目指す。 [希望進路を実現した人数（4年生）]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3人	2人	1人	0人		
	A	B	C	D								
3人	2人	1人	0人									
	<p>アルバイトやインターンシップを積極的に促し、生徒の勤労観を高めるとともに社会性を育む。 [長期アルバイトに取り組んでいる生徒の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満			
A	B	C	D									
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満									
保健部	<p>健康安全に関する啓発活動を年間を通じておこなう。</p>	<p>保健だよりの発行により、年間を通じて身近な健康問題の啓発をおこなう。</p>										

	<p>ライフスタイル指導を継続し、基本的な生活習慣の確立を目指す。</p>	<p>[保健だよりの発行回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>20回以上</td> <td>19～16回</td> <td>15～11回</td> <td>10回未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	20回以上	19～16回	15～11回	10回未満			
A	B	C	D										
20回以上	19～16回	15～11回	10回未満										
	<p>保健委員会を活用し、校内美化、環境安全に関する啓発活動をおこなう。</p>	<p>[保健委員会の開催回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8回以上</td> <td>7～6回</td> <td>5～4回</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	8回以上	7～6回	5～4回	3回以下			
A	B	C	D										
8回以上	7～6回	5～4回	3回以下										
第2学年	<p>自己肯定感を向上させ、学習や自主活動等に積極的に取り組む意識を促進させる。</p>	<p>学習や行事など、目の前の課題に丁寧に取り組ませ、一つ一つクリアさせることで少しずつでも自信を持たせられるように指導していく。小さな成功体験を積み重ねることで自己肯定感を成長させ、積極性の向上へつなげられるように指導する。</p> <p>[生徒の学校評価アンケート1～6の項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満										
第3学年	<p>他者に対する共感的理解を涵養する。</p>	<p>諸活動における振り返りを行い、言葉かけや学級通信等で意見の共有を図る。</p> <p>[生徒の学校評価アンケート1～3の項目A+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70</td> <td>69～50</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70	69～50	50%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～70	69～50	50%未満										
第4学年	<p>卒業後の自立した生活を意識した進路指導を行い、全員の希望進路実現を目指す。</p>	<p>希望進路の実現に向けて、個人面談を実施するとともに、保護者との連携も深める。</p> <p>[希望進路の実現]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3名	2名	1名	0名			
A	B	C	D										
3名	2名	1名	0名										
国語科	<p>一時間の授業の中で、それぞれの生徒が「わかった」「できた」を一つでも実感できるようにす</p>	<p>取り組むべき課題を明確に示し、生徒の理解度によって個別に助言を行う。</p> <p>[生徒の授業評価アンケートA+Bの割合]</p>											

	る。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~70%</td> <td>69~50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~70%	69~50%	50%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89~70%	69~50%	50%未満										
地歴公民科	主権者として生きていくために、社会に対する興味・関心を持たせ、基本的な知識を獲得させる。	<p>地図・写真・絵画といった資料や視聴覚教材を適宜用いていく。また、小テストや課題によって知識の定着を図っていく。</p> <p>[生徒の授業アンケートの項目9と10のAの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~70%</td> <td>69%~50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~70%	69%~50%	50%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89~70%	69%~50%	50%未満										
数学科	生徒個々の学力・能力を把握・分析し個々の実態に合わせた授業を展開し、興味・意欲・達成感を持たせる。	<p>生徒に学力を定着させる為、一人ひとりの能力や個性に応じた学習指導を展開し、「わかる楽しさ」を実感させ授業の充実を図る。</p> <p>[生徒による授業アンケートにおけるA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D							
A	B	C	D										
理科	自然や科学に対する興味や関心を喚起し、科学の実用性とそれを学ぶ意義や楽しさを実感させる。	<p>科学への学習意欲や関心を図るため、授業の理解度をレポートなどの提出物で確認する。</p> <p>[生徒による授業アンケートにおけるA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89~80%</td> <td>79~60%</td> <td>59%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89~80%	79~60%	59%以下			
A	B	C	D										
90%以上	89~80%	79~60%	59%以下										
保健体育科	自分自身の健康に関する意識を向上させ、感染症予防の観点からも生活習慣を見直させる。	<p>適度な運動、栄養、休養の観点から自分自身の生活習慣を見直し、改善していける意識や力を養う。</p> <p>[授業アンケートにおける当該項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>75%以上</td> <td>60%以上</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	75%以上	60%以上	60%未満			
A	B	C	D										
90%以上	75%以上	60%以上	60%未満										
芸術科 音楽	音楽を愛好する心情を育て、感性与表現力を高めるとともに、社会性を育む。	<p>鑑賞と表現（音楽理論を含む）の調和の取れた指導により、授業を充実させ、満足度を上げる。将来に向けて、社会人に必要な、他者への共感も育む。</p> <p>[生徒による授業アンケートにおけるA+Bの割合]</p>											

		A	B	C	D		
		96%以上	95～86%	85～76%	76%未満		
芸術科 美術	美術文化についての理解を深める。	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]					
		A	B	C	D		
		96%以上	95～86%	86～76%	75%以下		
芸術科 書道	書の伝統と文化についての理解を深める。	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。[授業アンケートにおける全項目のA+Bの割合]					
		A	B	C	D		
		96%以上	95～86%	85～76%	75%以下		
英語科	英語学習の意義を理解させ、行き当たりばったりの知識理解ではなく、体系的に学習させて定着を図る。	理解すべき内容は理解できるまで指導し、音声面の活動にも重点を置く。50分の授業が瞬時に終わったかのような錯覚を覚え、満足できる授業を展開する。[授業アンケートにおける項目1～6のA+Bの割合]					
		A	B	C	D		
		90%以上	89～75%	74～60%	60%未満		
家庭科	生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、生活課題を解決する力を養う。	ICTの活用や板書の工夫など授業のユニバーサルデザイン化を推進するとともに学習活動（言語活動、実習・実験など）の質を向上させる。[授業アンケート項目9におけるAの割合]					
		A	B	C	D		
		90%以上	89～70%	69～40%	40%未満		

商業科	検定試験に挑む学力を育成する。	<p>授業や放課後の学習指導の時間を通して、毎日パソコン入力資格・ビジネス文書検定・電卓検定などの各種検定に合格する力を育成する。</p> <p>[年度末の商業に関する検定試験の受検者に対する検定合格率]</p> <table border="1" data-bbox="875 336 1435 411"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満										
総合的な学習（探究）の時間	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、調査によって得た情報を基に分析し、まとめ、表現する力を身に付ける。	<p>地域の特色に応じた課題を設定し、その解決に向けた学習活動（まとめる、表現する、情報を収集・整理・発信する など）を計画的に実施する。</p> <p>[探究学習に対して肯定的評価をしている生徒の割合（独自アンケート）]</p> <table border="1" data-bbox="875 639 1435 715"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79～65%</td> <td>64～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79～65%	64～50%	50%未満			
A	B	C	D										
80%以上	79～65%	64～50%	50%未満										

学校関係者 評価委員会 による評価					
-------------------------	--	--	--	--	--

次年度に向けた改善の方向					
--------------	--	--	--	--	--